

第 1 1 回理事会議事録

日 時 平成 2 8 年 3 月 2 6 日 (土) 午後 1 時 3 0 分
会 場 千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所第 3 会議室
出席状況 出席 2 7 名 欠席 3 名 計 2 7 / 3 0

決定事項

- (1) 平成 2 8 年度行事予定 (案) について
- (2) 平成 2 8 年度競技会要項 (案) について
- (3) 平成 2 8 年度予算 (案) について

議事内容

1 開会 午後 1 時 3 0 分

2 定数確認 (高木専務理事)

定数 3 2 出席 2 8 名 欠席 3 名 計 2 7 / 3 0
定款第 3 7 条により、本理事会は成立する。

3 会長挨拶 (大岩前会長)

(要旨) 本年度最後の理事会にお忙しいところ出席いただき感謝する。平成 2 7 年度の行事は皆様に御協力いただき予定どおり終了した。本日の会議は来年度事業計画等重要な議題を扱う。忌憚のない意見を求める。

4 議長選出

高木専務理事から説明があった。

- ・議長選出については定款第 3 6 条により、「代表理事又は業務執行理事があたる。」とある。代表理事である大岩会長に議長をお願いする。

5 議事録署名人

大岩代表理事から説明があった。

- ・定款第 4 1 条により、「代表理事及び監事が記名押印する。」とある。よろしく願います。

6 議事

議案（１）平成２８年度行事予定（案）について

議長から、議案（１）について、市東総務委員長に説明するよう指示があった。

（市東総務委員長）

資料参照願いたい。前回の決定事項以外について説明する。

- ・競技会については、未定であった全国中学生クロスカントリー選手権は、２月１９日（日）千葉市昭和の森で開催である。併催される千葉県クロスカントリー大会の締め切りを１月２４日とする。
- ・会議については、４月２４日（日）午前中に理事会、午後に評議員会を総合スポーツセンターで開催予定である。４月に評議員会を開催するので、６月は２５日、２６日のいずれかで理事会を開催する。栄章表彰の関係もあり日曜日の開催を計画している。１月２２日の事務局会議については、千葉県クロスカントリー大会の締め切りが１月２４日であり、全国中学生クロスカントリー大会の日程も移動したため、別の日程を計画する。全国中学生クロスカントリー大会が２月１９日（日）に決定したので、新Ｂ級審判員資格取得は２月２６日（日）、前日準備を２月２５日（土）に行う。３月２５日（土）は理事会のほか登録団体代表者会議も開催する。
- ・日本陸連主催大会については、日本選手権クロスカントリー大会が２月２５日（土）に開催されるので追加願いたい。
- ・最新版は千葉陸協ＨＰに掲載する。

議長から質問及び意見が求められたが、特になかった。

異議なく提案のとおり承認された。

議案（２）平成２８年度競技会要項（案）について

議長から、議案（２）について、立澤競技運営委員長に説明するよう指示があった。

（立澤競技運営委員長）

- ・第５０回千葉県記録会については前回の理事会で承認されている。
- ・第３６回千葉県高校陸上競技記録会国体第３次選考会は、本年度から高校総体が国体第２次選考会となったため、国体第３次選考会となった。大会要項は高体連作成のものである。
- ・第６９回千葉県陸上競技選手権大会は、本年度本県開催の第８９回関東陸上競技選手権大会のリハーサルを兼ねる。本大会から投てき物の重さ等をすべて記載しているので確認願いたい。
- ・第４８回千葉県クラブ対抗陸上競技大会については要項のとおりである。
- ・第３２回全国小学生陸上競技交流大会千葉県選考会については、今後一部変更の可能性がある。変更があった場合はホームページ等で周知する。
- ・平成２８年度千葉県民体育大会第２部第７１回国民体育大会千葉県最終選考会については、国体種目の変更に伴い強化委員会で参加標準記録についても検討し、冊子巻

末に掲載した。

- ・第32回東日本女子駅伝千葉県選手選考会、長距離記録会については例年どおりである。
- ・2016年千葉県陸上競技秋季記録会は、アクアラインマラソン開催年のため日程が変わっているが大会要項を確認いただきたい。
- ・第11回ちばキッズ陸上競技大会については大会要項のとおりである。
- ・平成28年度全国小学生クロスカントリーリレー研修大会千葉県代表選考会については、参加者増加にともない単独での開催とした。
- ・第1回U13、U16 Long-Distance Run は、国際千葉駅伝で実施されていた中学生記録会の名称を変更したものである。男女都道府県対抗駅伝の中学生の選考会を兼ねている。
- ・第35回女子第22回男子都道府県対抗駅伝選考会については大会要項のとおりである。
- ・第55回千葉県クロスカントリー大会は、第2回全国中学生クロスカントリー大会に合わせ2月19日（日）に開催する。
- ・国体種目の変更に伴い、千葉県選手権を含め強化委員会に依頼し標準記録の見直しを行った。参考として、昨年度の千葉県選手権及び国体最終予選会の決勝記録一覧表を冊子に掲載した。
- ・別冊子で高体連、小中体連の大会要項と別紙地方陸協公認申請コード表を配布した。確認願いたい。
- ・本提案にあたり、2月21日（日）総務委員会、同記録情報部、競技委員会競技部、同審判部等で検討確認を行った。

議長より質問及び意見が求められた。

- ・柏市ナイター陸上競技大会は国体最終予選会と日程が重複している。（高木専務理事）
- ・例年実施している大会である。日程はこの日以外は難しい。（伊東審判部長）
- ・今後調整願いたい。（高木専務理事）
- ・2015年度に競技運営委員会として地方開催大会の指導視察は実施したか。

（藤原副会長）

- ・県民体育大会の下見を兼ね鴨川市へ視察を実施した。（立澤競技運営委員長）
- ・全競技会に行かなくてもよいが、複数回必ず実施すべきである。以前、特定の大会で好記録が続出することがあった。大会の運営の精度を高め、記録の信頼性を高めるべきである。千葉陸協主催大会との日程重複から、審判員の配置が不足し精度を落とすようなことがないようにするべきである。これらのことから千葉陸協主催行事との同日開催は制限している。先ほどの柏市ナイター大会についても善処してほしい。

（藤原副会長）

- ・ルール改正による不正スタート1回での失格は市町村レベルも含めすべての大会で

適用されるか（舟橋昭中体連委員長）

- ・公認大会はすべて適用する。（伊東審判部長）（立澤競技運営委員長）
 - ・中学生は適用しないというようなことはないか。周知徹底を審判講習会等で徹底してほしい。市町村レベルで統一されないと非常に困る。（舟橋小中体連委員長）
 - ・審判講習会では十分徹底できない。主催者に文書で徹底してほしい。（藤原副会長）
- このほか質問意見はなく、提案のとおり承認された。

議案（3）平成28年度予算（案）について

議長から、議案（3）について、西脇財務部長に説明するよう指示があった。

（西脇財務部長）

事務局から説明する。

（事務局 中村事務局員）

平成28年度は主要大会としてちばアクアラインマラソン大会と関東陸上競技選手権大会があり、その部分で増額となっている。

1 事業活動の部

(1)経常収益

- ・登録料収入 19,510,000 円 本年度は2050万円であり内輪に見積もった。
- ・補助金等収入 30,180,000 円 アクアラインマラソンを中心に補助金約1400万円増額の予定である。
- ・事業収入 18,231,068 円 5,785,000 円の増であるが、受取協賛金として国際千葉駅伝分270万円が正式になくなった。関東選手権で800万円を見込んでいる。
- ・その他の事業収入 3,880,000 円 例年どおりである。
- ・雑収入 3,000 円 前年度予算は500円であるが予算であるので、本年度はこの金額を計上した。
- ・経常収益合計 71,804,068 円 前年度比20,256,600円の増である。

(2)経常費用

- ・事業費 62,853,374 円 約2000万円の増額で、関東選手権800万円、ちばアクアラインマラソン1100万円の2大会分が主なものである。
 - ①大会費 26,700,000 円 アクアラインマラソン、関東選手権の開催もあり約1945万円の増額である。
 - ②派遣費 2,900,000 円 1000キロリレーの増額があるが例年どおりである。
 - ③強化費 26,801,068 円 前年同様である。
 - ④会議費 250,000 円 前年同様である。
 - ⑤旅費交通費 100,000 円 前年同様である。
 - ⑥報償費 50,000 円 前年同様である。
 - ⑦印刷費 150,000 円 前年同様である。

⑧表彰費 100,000 円 前年同様である。

⑨負担金 3,000,000 円 1,074,500 円の増であるが、関東選手権大会の千葉県負担金を 100 万円見込んでいる。

⑩減価償却費 585,550 円 前年同様である。

⑪予備費 1,754,216 円 前年同様である。

- ・管理費 9,413,234 円 1,043,234 円増額であるが、前年度まで国際千葉駅伝で負担できていた部分が同大会中止により増額分となっている。内訳は、まちづくり公社への支払、電話代、新聞代、コピー機のメンテナンス等である。法人化により事務局員の社会保険加入が義務付けられ、法定福利費 224,694 円の新たな支出が発生した。

収支合計 71,804,068 円 前年より約 2000 万円増の予算額である。

関東選手権大会予算について前回承認されたが詳細を説明する。

- ・収入は、参加料 4,150,000 円、協賛金 2,000,000 円、プログラム売上 500,000 円、千葉陸協負担金 1,000,000 円、関東陸協協賛金 350,000 円である。
- ・支出は、旅費 1,440,000 円、ポロシャツ 1,800,000 円、補助員 Tシャツ 900,000 円、弁当代 1,080,000 円、ナンバーカード 350,000 円、テント代 500,000 円、プログラム 800,000 円、大会要項 80,000 円、宿泊代 500,000 円、その他 550,000 円である。
- ・収支とも合計 800 万円である

議長から質問及び意見が求められたが、特になかった。

異議なく提案のとおり承認された。

7 報告事項

報告事項（1）関東陸上競技協会理事会について

議長から、報告事項（1）について、木内常務理事に説明するよう指示があった。

（木内常務理事）

- ・1月5日（火）日本陸連事務局で開催された。中曽根会長の挨拶後、大会報告、陸連理事及び栄章者選出等の協議が進められた。詳細については回覧資料を参照されたい。
- ・秩父宮章は千葉県からは平成27年度の推薦はなく、平成28年度から3か年連続で推薦することができる。功労賞は栃木陸協所属小堀信夫氏の推薦が決まった。
- ・関東陸協主催行事は配布資料のとおりである。関東選手権大会は本県開催で、次回理事会で開催要項等の検討が行われる。
- ・ジュニア育成クリニックについては輪番制であったが、関東陸協への依頼は不要となった。

報告事項（2）千葉県体育協会理事会について

議長から、報告事項（2）について、高木専務理事に説明するよう指示があった。

(高木専務理事)

- ・ 3月15日(火) スポーツ科学センターで開催された。大野理事長からオリンピックに触れながら挨拶があった。議事については回覧資料を参照されたい。
- ・ 審議事項については、平成28年度事業計画(案)、平成28年度収支予算(案)、千葉県体育協会定款の一部改正については資料参照願いたい。次期理事及び評議員改正については、本協会からは理事に高木専務理事、評議員に木内常務理事が内定している。3月26日開催の臨時評議員会次第についても資料参照願いたい。
- ・ 報告事項については、平成27年度行事報告予算執行状況、第71回国民体育大会冬季大会国体結果、ちばアクアラインマラソンパンフレット、第20回日韓青少年夏季スポーツ交流事業、平成27年度スポーツ振興事業賛助金状況、平成27年度体育功労者等顕彰、平成27年度後援行事の追加について、スポーツ少年団専門委員会等、その他として監査実施状況であった。

報告事項(3) 男女都道府県対抗駅伝大会について

議長から、報告事項(3)について、滝田駅伝部長に説明するよう指示があった。

(滝田駅伝部長)

- ・ 女子については、中学生は11月23日の選考会上位2名、高校生は選考基準を満たした上位3名、大学生に加え実業団からユニバーサルエンタテイメントと積水化学の協力いただきいいオーダーが組め、5位という好成績を残すことができた。
- ・ 男子については、当初予定していた高校生が急遽欠場となりオーダーを変更した。また、大会開催も危ぶまれる降雪のためアンカーがレース中にけがを負い、個人レースであれば棄権するところ、チームのアンカーとしての責任を果たすため完走した。アンカーは一時9位まで追いつけたが最終成績は28位であった。

報告事項(4) 専門委員会より

議長から各専門委員長等に指示があり、委員会ごとに各委員長が説明した。

総務委員会(市東委員長)

1月23日(土) 委員長会議で次の改善点等を報告した。

- ・ 競技会申し込み方法はウェブを活用して改善されている。大会参加受付及び参加料の管理は事務局で問題なく作業がなされている。その後プログラム編成までの記録情報の処理及び資格審査等において、登録の確認、報告された参加標準記録の確認等課題がある。個票提出を廃止したこともあり、更に記録情報部及び法制部の連携を進めていく。
- ・ 広報関係では、千葉陸協だより等文章に頼るばかりでなく、視覚に訴える努力が必要である。

競技運営委員会(立澤委員長)

- ・ 2月21日(日) 新B級審判員審講習会を実施し71名が参加した。県記録会で2回の訓練会を実施し、平成28年4月1日付けでB級審判員資格を得る。

- ・プログラム編成作業においては個票が廃止されたこともあり、データの整理等支障が無いよう努める。

- ・4月3日（日）2016年度審判講習会を実施予定である。

強化委員会（伊東委員長）

- ・国体の種目変更に伴い、千葉県選手権も含め標準記録の見直しを行った。強い選手の出場を期待し全体的に基準を上げた。男子走高跳のみ1m96を1m93に下げたが、1m90からは3cm刻みのバーの上げ方になるためである。

- ・1月9日から10日に鴨川市で強化合宿を実施した。高校新人大会優勝者で国体該当種目の、次年度活躍が期待される選手約30名が参加した。

- ・次年度オリンピック事業の特別強化選手8名、基礎強化選手8名を選出した。

施設用器具委員会（松本委員長）

- ・大会等での不備はその都度競技場管理者に要望し、対応していただいている。

- ・アクアラインマラソンのコース変更による点検及び測定の準備作業を1月31日（土）、2月21日（土）に実施した。県内各競技場の公認検定作業も期限を確認し実施している。

議長より、定款の規定により各専門委員会担当執行役員からの意見が求められた

- ・総務関係（長谷川副会長）

密なる打ち合わせが行われており自分からは特にはない。前年度の反省を生かし、運営のコンピュータの活用、広報活動など自分自身も勉強し陸上競技愛好者のために携わりたい。

高体連（木内委員長）

- ・大会要項を配付した。高校記録会が国体予選会を兼ねているが、日程等から出場できない場合もあり、高校総体を今年度から国体第2次予選会として位置づけることとした。

中体連（舟橋委員長）

- ・大会要項を配付した。関東大会に混成競技が新設されたため、通信大会の混成競技上位2名が関東大会に出場するよう変更した。

- ・普及育成のため、千葉県でジュニアコーチ講習会開催を予定している。

マスターズ（柳田理事）

- ・競技会予定として5月1日（日）に記録会、7月31日（日）に選手権を予定している。登録者、参加者とも増加しており、御指導御協力いただきたくよろしくお願ひしたい。

(5) その他

総務委員会（市東総務委員長）

- ・ちばアクアマラソン2016競技運営委員会名簿、同実行委員会、第89回関東陸上競技選手権実行委員会（案）を配布した。よろしくお願ひしたい。

- ・前回理事会でアクアラインマラソンの体制を明確するべきと意見があった。この体制で進めるということによいか。(大岩会長)

- ・この体制で進める。(高木専務理事)

競技委員会(立澤競技運営委員長)

- ・関東陸上競技選手権大会要項(案)を配布した。関東陸協理事会で検討を行う。

- ・本大会では関東陸協理事会で各県からの推薦枠がなくなった。日本選手権と各県予選会の日程が重複している。日本選手権出場者の推薦枠を関東陸協理事会で提案する予定である。(木内常務理事)

専務理事より(高木専務理事)

- ・国際千葉駅伝監査が終了した。書面による組織委員会を実施し、解散会が開催された。

- ・中学生クロスカントリー大会の反省会を実施した。レースの様子はフジテレビで深夜2時から放映され視聴率は9%と高かったが、放映は今回のみとのことである。

- ・1000km震災リレーは今年も実施する。

千葉県体育協会定款の一部改正について補足説明(中村理事)

- ・一般財団法人に関する法律第91条及び92条の内容が欠落していた。理事の職務及び権限において報告義務があり、千葉陸協では適正に定義され機能している。

8 その他

千葉県民マラソン大会について(立澤競技運営委員長)

- ・3月6日開催の千葉県民マラソン大会で、距離不足が発覚し公認大会とできなくなった。15kmから20kmの間で折り返し地点を間違え、740mの不足となった。記録の公認は行わず、出場者には記録なしとなる旨文書で通知する。

- ・今後のこのような事態を繰り返さないためにどのように対応するのか。(大岩会長)

- ・千葉陸協と富津市陸協とで図面との確認を行った。5km、10km、20kmのポイントを確認したが、折り返し地点のポイントが図面上ではっきりしなかった。来年度はポイントと図面の確認をしっかりと行い間違いのないようにする。

栄章候補者推薦について(市東総務委員長)

- ・次回4月24日の理事会で、千葉陸上競技協会功労章及び関東陸上競技協会感謝状の受章者の審議を行う。各所属団体から栄章候補者を推薦願いたい。4月9日締め切りで語連絡願いたい。

公認申請について(岩協記録情報部長)

- ・公認申請は全国的にデータ申請が主流である。数年前からデータ申請化が進み、今後100%データ申請化されると思う。各競技会ではエクセルシート等を活用し記録整理をしている場合が多いので、そのデータを送付することなどをホームページ上で広報してほしい。書類での申請と同時にデータの提出も必要であることを開催団体に周知してほしい。

- ・関連して、各陸上競技場の写真判定装置は年間1回の点検を行っているか。費用が高額であることもあるが、記録の申請のこともあり管轄する市町村等に依頼した方がよいのではないか。(塩谷理事)
- ・修繕修理等については用具器具の業者から連絡がある。(高木専務理事)
- ・各団体の公認申請はエクセル等で作成した書類が提出されているので、データは保管されていると思う。そのデータも提出してもらいたい。提出書式があるのでそちらを活用したい。写真判定装置の年間1回の点検は、規則では定められていることである。
(岩脇記録情報部長)
- ・千葉陸協の組織では、記録情報は総務委員会の管轄であるが、実際は競技運営委員会で公認申請の処理をしておりねじれ構造となっている。本来の組織どおりの運営にするのか、実態に合わせ組織及び運営の再検討をするのか今後検討したほうがよい。
(中村理事)
- ・記録様式があるということなので、公認作業に当たっては徹底を図る上でも周知をしてほしい。(舟橋小中体連委員長)
- ・公認申請用の書式ではなく、データ申請時のデータベースがあり、これに各競技会のデータを入力する。各競技会で利用しているエクセル等のデータを送付していただきたい。(岩脇記録情報部長)

午後2時52分 閉会